



ヤマト運輸



<別紙>

■本実証について

1. 概要

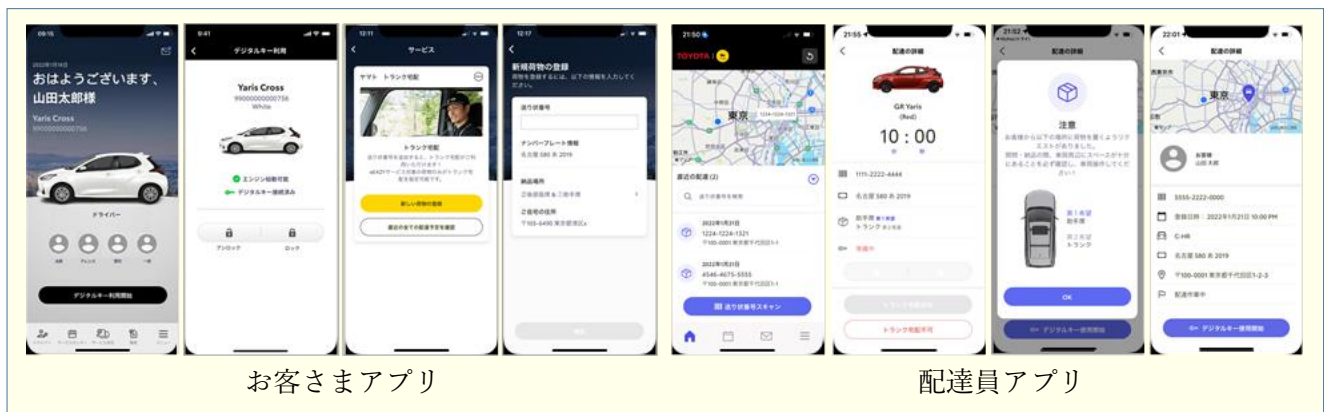
参加者の自家用車に専用デバイス（Smart Key Box、以下 SKB）を接続してデジタルキーを利用可能とします。ヤマト運輸の配達員は、参加者の自家用車のトランクなどをデジタルキーで解錠し、参加者が購入した商品をお届けします。

2. 参加者

東京都と愛知県の一戸建てに居住かつトヨタ自動車を所有される方。

3. 実施方法

- 参加者はスマートフォンに専用アプリをダウンロードすることで、デジタルキーと宅配サービスの設定/操作を行います。
- ECサイトにて商品購入後、ヤマト運輸の EC 商品配送宅配サービス「EAZY」から送り状番号を送信します。受領後に、専用アプリからトランク/助手席/後部座席などの配達先を指定します。また、専用アプリでは配送状況や、再配達の指示や問題事象の登録なども可能ですので、安心安全に利用できます。
- 配達員は、専用アプリにて所定の時間だけ利用を許可されたデジタルキーを利用してクルマの解錠をして配達を行います。終了後は施錠をし、配達の状態を専用アプリに登録するので確実に作業を行うことが可能です。



<専用アプリイメージ>

4. 各社の役割

- KDDI: お客さまと配達員が利用するスマホアプリと、IoT サービスプラットフォームの設計、提供
- ヤマト運輸: 本実証のお客さま募集、EC 商品の配達

- ・プライム ライフ テクノロジーズ：本実証実施エリアのご提案、お客さまとのマッチング、サービス受容性調査企画
- ・トヨタ自動車：デジタルキーの提供

■KDDI が提供する本システムについて

本システムは、KDDI と 2021 年 2 月に持分法適用関連会社化した Station Digital Media, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、CEO:August Lopez）（注5）が共同で企画、設計、開発、運用し、本実証の専用アプリと後付けの専用デバイスを連携させて一元的に制御します。ID 管理、プッシュ通知配信/管理、データ分析、サービスキー管理、デジタルキー管理などの機能を備えており、デジタルキーの施解錠のみならず、サービス運用状況の管理や見える化などにより、最小のリスクやコストで実証実験を行うことが可能です。

本実証で蓄積したデータや知見を有効活用し、今後、本システムの商用化を目指します。



＜本実証のシステム構成イメージ＞

（注5）2013年1月に August Lopez により設立され、コネクティッドカー向けモバイルソリューションを提供しています。ビジュアルデザイン、CX、モバイルアプリ企画開発を強みとして、グローバルレベルのいくつかの自動車メーカーの開発案件を獲得し実績を上げています。（社員数：132名（2022年1月現在））

※記載されている会社名や商品名などは、各社の商標または登録商標で。

以 上